

2020 年優秀賞作品 「いのちのリボン」

安田女子大学 造形デザイン学科1年 石松葵 様

 Green Ribbon Campaign
グリーンリボンキャンペーンに関する情報はこちらのサイトをご覧ください。



グリーンリボンは、世界的な移種医療のシンボルです。
グリーンは成長と新しいいのちを意味し、リボンは「Gift of Life」(いのちの贈りもの)によって結ばれた臓器提供者(ドナー)と移植が
必要な患者さん(レシピエント)のいのちのつながりを表現しています。



ブックカバータイトル「いのちのリボン」
ブックカバーデザイン：石松 葵さん（広島市）

「いのちのリボン」は、世界的な移種医療のシンボルであるグリーンリボンをモチーフに、赤ちゃんの顔を中央に配置し、その頬や口元をリボンで包み込むようにデザインしました。リボンは「いのちの贈りもの」を象徴し、赤ちゃんの成長と新しいいのちの始まりを表現しています。また、リボンの結び目が臓器提供者と患者さんをつなぐ象徴として描かれています。

広島県では移種医療の普及目的に、移種医療のシンボル「グリーンリボン」をモチーフとしたブックカバーのデザイン募集を行いました。優秀賞の作品をブックカバーとして作成しました。このブックカバーをきっかけに多くの方にグリーンリボンを知っていただければ幸いです。

制作所：広島県医療介護人材課 / 公益財団法人 ひろしまドナーバンク お問い合わせ先： ☎082-256-3523

2021 年優秀賞作品

「繋がる命」

広島コンピューター専門学校 2年生 クローバー様

コンセプト

ブックカバータイトル「繋がる命」
ブックカバーデザイン：クローバーさん

「いのちのリボン」は、世界的な移種医療のシンボルであるグリーンリボンをモチーフに、赤ちゃんの顔を中央に配置し、その頬や口元をリボンで包み込むようにデザインしました。リボンは「いのちの贈りもの」を象徴し、赤ちゃんの成長と新しいいのちの始まりを表現しています。また、リボンの結び目が臓器提供者と患者さんをつなぐ象徴として描かれています。



「いのちのリボン」は、世界的な移種医療のシンボルであるグリーンリボンをモチーフに、赤ちゃんの顔を中央に配置し、その頬や口元をリボンで包み込むようにデザインしました。リボンは「いのちの贈りもの」を象徴し、赤ちゃんの成長と新しいいのちの始まりを表現しています。また、リボンの結び目が臓器提供者と患者さんをつなぐ象徴として描かれています。

「いのちのリボン」は、世界的な移種医療のシンボルであるグリーンリボンをモチーフに、赤ちゃんの顔を中央に配置し、その頬や口元をリボンで包み込むようにデザインしました。リボンは「いのちの贈りもの」を象徴し、赤ちゃんの成長と新しいいのちの始まりを表現しています。また、リボンの結び目が臓器提供者と患者さんをつなぐ象徴として描かれています。

グリーンリボンは、世界的な移種医療のシンボルです。
グリーンは成長と新しいいのちを意味し、リボンは「Gift of Life」(いのちの贈りもの)によって結ばれた臓器提供者(ドナー)と移植が必要な患者さん(レシピエント)のいのちのつながりを表現しています。

 Green Ribbon Campaign
グリーンリボンキャンペーンに関する情報はこちらのサイトをご覧ください。

